



学校運営協議会だより

令和5年7月9日発行 第1号

第1回紋別地区特別支援学校学校運営協議会を、令和5年6月26日(月)、紋別高等養護学校で開催しました。初会合には、北海道紋別養護学校、北海道紋別養護学校ひまわり学園分校、北海道紋別高等養護学校の特別支援学校3校が所在する遠紋地域から、学校運営協議会の趣旨に御賛同いただいた13名の協議会委員の方々が出席され、3校の学校運営及び教育活動についてご理解をいただく機会となりました。



学校運営協議会（コミュニティースクール）とは

昔は、学校は教員と保護者だけが関わるのが一般的でしたが、地域社会に開かれた学校づくりを推進していくため、平成12年(2000年)から、学校評議員制度が始まり、地域住民が学校に関わる時代になりました。その制度が昨年度で終了となり、今年度から学校運営協議会（別名コミュニティースクール）に生まれ変わりました。遠紋地域については、紋別養護学校とその分校のひまわり学園分校、紋別高等養護学校を合わせた3校合同で学校運営協議会を行うこととしました。遠紋地区の特別支援学校が地域資源を競合するのではなく、互いの情報を共有し、協同していくためです。これから委員の方々にそれぞれの学校をよく知っていただき、学校の困り感を伝え、委員の皆さんがもっている知識や人脈などを提供いただいたり、それぞれの学校運営に貴重な御意見をいただきながら、地域社会と一体となった新たな学校の在り方を模索していきます。

各校の学校ビジョン 《学校経営方針》

《紋別養護学校・ひまわり学園分校》

令和5年度（2023年度） 重点目標（学校ビジョン）

「つながり」を重視した教育活動の推進

～社会とのつながり、保護者・地域とのつながり、
組織間のつながり～

○児童生徒を第一に考えた「つながり」を重視し、児童生徒を取り巻く各方面との連携・協働を通して、「チーム学校」づくりに取り組みます。

《紋別高等養護学校》

学校経営 R5年度の重点

「生徒一人一人への適切な指導や寄り添った支援を再確認し、教育活動（ありとあらゆる取組や業務）をブラッシュアップする」

★多面的・多角的に生徒の実態を捉え、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を提供する

★学校課題を明確化し、教職員と保護者や地域が連携・協働して改善に向けて取り組む

協力する人々の姿

- ・学校経営方針に理解を示し、協働して取り組む人々
- ・生徒の成長を願い、教職員と共に支えてくれる人々
- ・学校を信頼し、優しく生徒を見守る人々
- ・教育活動に積極的に参加してくれる人々
- ・いつも学校や生徒を応援してくれる人々

-6-

○各校の校長より、R5年度の学校経営について説明を行いました。それぞれ地域社会とのつながりを意識した経営目標となっており、学校と保護者及び地域住民等が信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図ることをねらいとしています。

○後半は、情報交流を行いました。『地域資源を活用した教育活動について』をテーマとし、教育の充実のための各校の考えや思い、各校の地域での役割や立ち位置などに対して理解を深めていただくことができました。年3回を予定している会議は、今後、委員の方々と熟議を重ね具体的な取り組みへと結び付けていく予定です。